

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫のため受診経験のある 患者さんまたはご家族の方へ

臨床研究に対するご協力のお願い

愛媛県立中央病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いいたします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させて頂きますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究課題名】 免疫グロブリン軽鎖制限のないびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の臨床病理学的特徴

【研究の目的】

悪性リンパ腫を疑った場合、腫瘍成分を生検で採取して病理学的に診断を確定する必要があります。例えば、腫れているリンパ節などの病変組織をとってきて顕微鏡など様々な方法を用いて調べるのです。フローサイトメトリー検査も生検の際に実施される診断補助的検査の 1 つです。フローサイトメトリーは、生検組織が B 細胞由来なのか T 細胞由来なのかの判定に利用したり、そもそも異常な細胞が含まれているかどうかを判定するのに使用します。びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫を始めとする B 細胞リンパ腫の場合には、フローサイトメトリーにおいて κ 成分と λ 成分が大きく乖離する『表面免疫グロブリンの軽鎖制限』が生じることが特徴なのですが、時にはその乖離が生じない場合があります。軽鎖制限が生じないタイプのびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に関しては、その原因も特徴も充分には解明されていません。そこで過去に当院で診断されたびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の患者さんにおいて、軽鎖制限を認めた患者さんと認めなかった患者さんとの治療成績および検査データを比較することによって、その臨床病理学的特徴を明らかにすることを目的とします。

【対象となる方】

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の患者さんで、2013 年 1 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日の間に診断確定のための検査（具体的にはリンパ節生検や骨髄検査など）を受けた方

【使用する診療情報】

カルテ情報： 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、病理組織所見、フローサイトメトリー)、化学療法の内容。

【研究期間】 臨床研究審査委員会承認日から 2025 年 3 月 31 日

【個人情報の取扱い】

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報
は公表いたしません。

【研究責任者】

愛媛県立中央病院 血液内科 医監部長 森 正和

【問い合わせ先】

松山市春日町 83 番地

愛媛県立中央病院 血液内科 医監部長 森 正和

電話 089-849-1111 FAX 089-943-4136